



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2010/10/16 Rd-6 AUTOPOLIS

天候：晴れ/曇り 気温：20℃ 出走台数：15台

阿蘇の山々に囲まれた九州唯一のサーキットは、時折吹く風は冷たいものの、秋晴れの清々しい天候の中、チャンピオンシップの行方を左右する重要な第6戦オートポリスが開催された。

前戦の好調を維持しつつ更に熟考を重ねたセットアップを施したチームは、連続ポールポジションを絶対命題として予選に臨んだ。

ノックアウト第1予選、フリー走行で確認したセットを施した2台は開始とともにコースイン。まずは中古タイヤでデュバル選手1位、伊沢選手6位のタイムをマークする。状況確認ののち、残り時間6分でアタック。第3セクターでタイムロスしたデュバル選手は、トップに0.005秒届かず2番手、伊沢選手は第1セクターでブレーキをロックさせてしまい9番手。ともに第2予選に進む。

つづく第2予選、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台はタイミングを見計らいコースイン。デュバル選手は圧倒的な速さを見せ、2位に0.4秒の大差をつけて1番手をマーク。予選ポールポジションに向けて弾みをつける。伊沢選手は130Rでコースオフしながらも7番手を記録。2台揃って第3予選に駒を進めた。

トップ8を決定する第3予選。タイミングを見計らい上位8台が次々とアタックに入る。デュバル、伊沢両選手がまさにアタックを開始しようとした時、ゼッケン36ロッテラー選手が1コーナーコース上に車を止め赤旗中断、そのままセッションは終了し、チームTOMSの2台以外誰もタイムアタック出来ずに予選が終わるという歯切れの悪い幕引きとなった。その後、予選中断の原因をつくったチームTOMSロッテラー選手にはタイム抹消の裁定が下った。

1：ロイックデュバル選手 予選4位（第1予選2位 第2予選1位 第3予選4位）

富士、菅生に続いて、3度目のポールを獲得する自信は十分にあった。

最も白熱する第3予選でアタックすることなく終ることとなりとても残念だし、ファンの皆様にも申し訳ないと思う。あのような行為に対して言いたい事はあるけど、今はとにかくレースに集中し、レース結果を持って本当の速さを証明したい。

2:伊沢拓也 選手 予選7位（第1予選9位 第2予選7位 第3予選7位）

予選ではミスがあつて結果に表れていませんが、車の手ごたえは良くトップ4は狙えたと思います。予選の終わり方が不完全燃焼で残念でしたが、私の仕事は明日のレースで上位フィニッシュする事ですので、自身の優勝はもちろん、ロイック選手とチームのポイント争いを有利に進めるべく、気持ちをレースモードにして明日に臨みます。